

小樽南ロータリークラブ会報

ホームページ <http://rid2510.org/otarusouth/>

18
2013年11月8日発行

昭和35年2月5日

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2013-2014年度 Rotary International テーマ



Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

ロン D. バートンRI会長

強調事項 RI第2510地区 安孫子 建雄 ガバナー (江別RC)

- ロータリーの基本を見つめ 変革するロータリーを実践しよう
- 「RIテーマ<ロータリーを実践し みんな豊かな人生を>の理解を深めクラブと地域そして世界で活躍するロータリアンになろう」

●今日11月8日(金)のプログラム

『新入会員卓話』

佐藤(公)会員・山田(正)会員

●来週11月15日(金)のプログラム

◎職業奉仕委員会担当例会
本間(清)委員長

●再来週11月22日(金)のプログラム

◎社会奉仕委員会担当例会
地区社会奉仕委員長 清水 哲氏 (札幌東RC)

●第17回例会報告 11月1日(金) 「ロータリー財団担当例会」

- 国歌斉唱 ■「君が代」
- ロータリーソング ■「四つのテスト」
- ゲスト・ビジターの紹介 ■

李 アルム さん (米山奨学生)

■会長報告 ■ 吹越会長

- ・10月27日(日)「音読」の成果を発表する第1回音読カップが開催され、我がクラブから永原会員(審査員)と共に参加して参りました。審査員5名が厳しい審査をする中、練習の成果を披露し、市内26校から各校の代表77名の参加がありました。部門ごとに上位3名に金賞・銀賞・銅賞カップ及び賞状が贈呈され小樽南ロータリークラブからの金賞のカップを受賞の各児童に渡してまいりました。
- ・先日開催の歴代会長会議で、次次期会長内定者に廣部会員が選出されました。
- ・佐藤友美会員がご結婚されました。謹んでお祝い申し上げます。Best of Luck!

■ご挨拶 ■ 佐藤友美会員

・このたびご縁があり伴侶を得ましたのでみな様にご報告させていただきます。札幌での新婚生活ですので特に夜の例会には暫くは早退させていただきます。今後ともよろしくお祈り申し上げます。



■次次期会長内定者ご挨拶 ■

◎廣部会員

・図らずも次次期会長のご指名をいただきました廣部です。後2年しかありませんが種々ご高配をいただきますようお願い申し上げます。



■米山奨学生奨学金授与 ■



■幹事報告 ■ 山村幹事

- ・名義後援している劇団新生ふるきゅら小樽公演ミュージカル「ドリーム工場—東北のプレタポルテ」チケットが10枚届いております。ご利用の会員の方は事務局にお申し込みください。
- ・例会終了後定例理事会が開催されます。

■会員誕生祝 ■ 11月誕生の会員

15日 野村 18日 山谷、白石 21日 湊
24日 板垣、24 坪井



いつまでもお元気で!

■永年出席100%会員表彰 ■

◎20年表彰 荒田会員 岡崎会員





卓 話

ロータリー財団
松浦委員長

ロータリー財団の寄付は“世界で良いことをしよう”という目的をもって設立されました。

クラブでは、個人寄付として、年次基金に、財団の人道的、教育的プログラム一般を支える為の主要な財源の寄付や、ポリオプラス基金にクラブ寄付を行ってまいりました。

本日は、年次寄付、ポリオプラスに加え財団を支えている寄付についてご案内します。

恒久基金は、明日の財団プログラムを確かなものにするために元金には手をつけず投資収益の一部が財団活動に使用します。寄付者は、「シェア」「国際財団活動資金」「ロータリー平和センター」「重点分野」のいずれかを選んで寄付することができます。シェアを選択した場合は、使用可能な投資収益の半分が地区財団活動資金に還元されます。国際財団活動資金は、全世界のロータリーの優先活動に資金を提供しています。年次寄付の50%はこの資金充てられています。ロータリー平和センターは、平和と紛争解決のためのプログラムです。日本では国際基督教大学にロータリー平和センターが置かれ、世界から選抜されたロータリー平和フェローたちが修士号所得を目指しています。例として、アルゼンチンからの平和フェローは、9.11テロの後「国家の安全保障」ではなく「個人の安全保障」が重視されているが、然し一方では、国内に存在する反体制的な自国民を迫害することに利用されかねないこと、また都市空間の治安を強化しようとするアメリカのイス

ラム教徒に対する政府諜報機関と民間団体の監視など問題点を研究しています。

又、フランスのフェローは、西パプアにおける紛争の分析を行い、先住民パプア女性の政治的戦略の考察を行い、女性の人権や安全保障といった概念からだけでは、暴力被害の救済には繋がらないことなど民族性の考察を研究しています。

重点分野としては、・平和の推進・疾病との闘い・きれいな水の提供・母子の健康・教育の支援・地元経済の成長の6項目です。又、寄付者は恒久基金に2万5千ドル（約250万円）以上寄付すると「冠名基金」を設立することができます。一昨年度、世界で99件、インドでは33件、アメリカ28件、日本では、12件の冠名基金が設立されています。

世界では、恒久基金の目標を2025年度までに10億ドル（約1000億円）を目標にしており昨年度6月で75%が達成されています。

ロータリー日本財団への寄付は、税優遇措置の対象になります。個人寄付については、税額控除の場合、10万円寄付すると約4万円の税額控除になります。又法人寄付の場合には公益増進法人限度額は5割増しに改定されています。

恒久基金への寄付につて、ロータリーの未来を支える計画寄付があります。

その一つに「遺贈友の会」があります。遺贈友の会は、未来の子供たちのために、見ることもない未来に贈り物をする機会です。1万ドル以上指定された場合に入会されます。寄付金は恒久資金に積み立てられます。遺贈金の使い道については、恒久基金と同様選択出来ます。

現在日本では210人以上の会員がおります。

又クラブでは、新規ベネファクターを募集しております。50人以上のクラブは2名です。ベネファクターは恒久基金に現金で1,000ドル（約10万円）寄付された方、若しくは、計画寄付により、恒久基金を受益者と指名された方を対象にしております。

出席委員会

・平成25年11月1日

会員総数 69名 本日の欠席者 16名
阿部、荒木、浅村、小笠原、角野、永原、斎田、柴田、高木(成)、工藤、福島、前川、坪井、野村、本間(清)、山田(正)

・平成25年10月18日

会員総数 69名 確定出席率 移動例会につき100%

メーキャップ

10/25 福島 11/1 柴田、斎田 (小樽RC)
11/1 阿部 (地区大会)